年度末報告書（実行団体）

● 提　出　日　：　2022 年　4 月　20 日
● 事　業　名　：　岩手県内の支援体制構築と支援者の育成・創出事業
● 資金分配団体　：　特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
● 実 行 団 体　：　特定非営利活動法人いわて連携復興センター
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　□無

①　実績値

【資金支援】※コロナ事業含んだ内容になっているか要確認

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
岩手県・岩手県社会福祉協議会・いわて NPO 災害支援ネットワーク、3 者による協働協定の締結（１－１）	協働協定締結までの検討内容（定性的）	協働協定締結	1 年	3 者での協議は行っているものの、協定の締結には至っていない。	3
協働協定運用マニュアルの完成（１－２）	運用マニュアル完成までの検討回数と内容（定量的・定性的）	運用マニュアルの完成	1 年	運用マニュアル案については作成中だが、協定が締結されていないこともあり完成には至らず。	3

協定締結後のブラッシュアップ･運用を想定した継続的な３者協議（１－３）	３者による協議、合同訓練や、県・県社協とセミナーの協働実施回数と内容、防災ボランティアネットワークの運営委託（定量的・定性的）	具体的な運用を想定した 3 者協議が定期的に追われている。合同訓練は本参加。ボランティアネットワークの事務局受託	３年	県・県社協とのセミナーの協働実施はできている。	2
市町村域の 3 者連携が、どのような形で構築されているか可視化（２－１）	可視化できた市町村数とその内容、三者連携促進セミナーの開催数（定量的・定性的）	県内 6 市町村の協働事例の可視化。	１年	６市町村の可視化は完了。三者連携セミナーを２回実施済み。	2
可視化したものを可視化した市町村以外の市町村に展開（２－２）	展開した市町村数と状態（定性的・定量的）	県・県社協等とも協議をし可能な範囲で展開していく。	３年	展開については２０２２年度に実施。	2
コアスタッフ 2 名の資格及び各種ノウハウの取得（３－１）	防災士資格取得、各種防災セミナー参加等による支援ノウハウ取得、コアメンバーによる防災セミナーの開催、自然災害時における外部支援や防災ボランティアのコーディネーションの実施。（定性的）	防災に係る講座が開けるほどの知識の習得と講座開催。自然災害時における外部支援や防災ボランティアのコーディネーションが行える。	３年	防災士資格は２名ともに取得済み。防災セミナーも開催済み。	2
自然災害時における専門的な知識を持つ人材の創出（３－２）	INDS が認定する研修参加者への認定書発行数（定量的）	自然災害時における専門的な知識を持つ人材を 20 名創出。	３年	認定証発行の発行は行わず、参加者の管理に変更。	2

INDS 加盟団体の増加（４－１）	INDS 加盟団体増加数、（定量的）	INDS 加盟団体 20 団体増加	3 年	加盟団体の増加ではなく、連携できる団体に変更。すでに 20 以上の団体と連携済み。	2
防災ボランティア増加に資するセミナーの開催（４－２）	講座内容（定性的）	セミナー開催に資するまでの内容のクオリティ	3 年	セミナー実施済み。	2
災害時に活動するボランティアのネットワーキング（４－３）	ネットワーク参加人数（定量的）	登録人数 80 名	3 年	セミナー参加者を登録。	2

＊進捗状況：1 計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし　☐短期アウトカムの内容　☐短期アウトカムの表現　　☐短期アウトカムの指標　☑アウトカムの目標値 ※INDS 加盟団体→顔の見える関係の団体に変更部分
3. 活動に関する報告
※報告期間中に実施した活動（事業計画の「活動」）について、以下の観点を含めて記載してください。 ・事業実施の意義を具体的に伝えられるエピソード（事業成果の進捗・達成の観点からアピールしたいエピソード） ・対話連携の要素を含む実施内容と成果、影響（住民参加、ボランティア・会員等参加、企業等の連携 ・協賛・共催、NPO 等との協働、学術研究機関等との協働、その他団体等との協働など）

＞成果１　県域の行政・NPO・社協の三者連携の確立

今年度（R3 年度）から県地域福祉課の担当者と担当課長が変わったことで、これまでの議論の経緯や事業内容・取組みのインプットからの開始となった。また、地域福祉課ということもあり、担当者がコロナ対応で他部署の業務に時間を割かれることが増え、協定についての協議の時間を十分に設けることができなかった。しかし、こまめなコミュニケーションを取ることが必要という共通認識を 3 者で持つことができたため、年度終盤より毎月情報共有の場を設定することができている。併せて、防災に関わる県の部署である復興防災部防災課、若者女性協働推進室、地域福祉課の 3 部署と県社協、INDS で、災害時の多セクター間協働による岩手の体制についても議論する場を持つことができている。

また、各種研修については県、県社協と協働での開催ができている。

＞成果２　市町村域の行政・NPO・社協の三者連携の事例創出

オンラインや対面での市町村社協へのヒアリングを実施し、三者連携についての可視化をすることができた。また、コロナ禍で対面での研修や打ち合わせが難しくなっている状況ではあるが、岩手県は IT リテラシーが高いとは言えず、このままではコミュニケーションや情報共有が難しくなる恐れがあったため、オンライン活用についての研修を実施した。コロナ禍でもコミュニケーションを維持・促進させるツールとして、また災害時の情報共有ツールとして貸出用の資機材も用意したが、多用するという段階まではなかなか難しい状況であった。

＞成果３　支援現場において専門的な知識をもつ人材の創出

オンラインを活用し他地域の研修等に多く参加することができ、多くの事例や分野について学ぶことができた。また研修の開催時にオンラインを活用することで県外の方からもご登壇いただきやすい状況であったため、県外の事例の紹介をいただく研修も実施することができた。休眠預金事業終了後も見据えて、INDS コアスタッフが外部研修に登壇する機会も積極的にチャレンジすることができた。その他、HP を新設し、情報発信やこれまでの取組についてのまとめや発信をすることができた。

＞成果４　自然災害時のボランティアフェーズに活動する層の創出

地域内でのボランティア育成のため、学生ネットワークとの研修を実施した。県外への情報発信として「ぼうさいこくたい 2021」で分科会を開催し、県内での多機関連携の事例を紹介することができた。また、ボランティアさんとのコミュニティツールとして LINE 公式アカウントを開設し、スムーズな情報発信をすることができた。

6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点

・集合型の研修実施時に受付での検温、手指用消毒液の設置、不織布マスクの着用の徹底。

・研修や打ち合わせの実施をなるべくオンライン化することで、直接会う機会を減らした。

② 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況

☑自団体のウェブサイトで表示している　　☐広報制作物に表示している

☐報告書に表示している　☐イベント実施時に表示している　☐その他

→「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

2.　広報

1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等）

報告事項なし

2.広報制作物等

報告事項なし

3.報告書等

報告事項なし

4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等）

報告事項なし

④規程類の整備に関する報告

1.　事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。
☑完了　　☐整備中
2.　整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
3.　変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

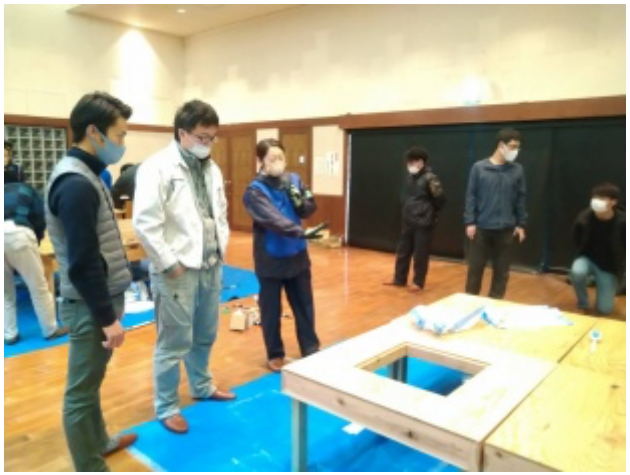
1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：

4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　□いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☑内部監査を実施　　□外部監査を実施　　□実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

2022.02.16_災害ボランティアの事前登録制度と ICT 活用についての研修会



2021.12.02_青い鳥セミナー：災害ボランティア養成講座

2021.7.12_災害に備えたオンライン活用勉強会